


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	企業局	所管課	工業用水道課	
施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備			施策コード	10021	
政策体系(中項目)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造			政策体系コード	2(2)C	
知事公約	-	総合戦略	-	国土強靱化	B4311	事務事業数 3
SDGs				総合判定	順調	

**【1 Plan】**

施策目標	新たな受水企業の獲得や既存受水企業の更なる契約水量の増加に努めるとともに、豊富で低廉な工業用水の安定供給による企業立地環境の整備を図る。					
現状と課題	産業構造の変化や水のリサイクル技術の向上等により、工業用水道事業を取り巻く経営環境は今後一層厳しくなることが予想され、収入基盤である契約水量の維持・増加の取組等を引き続き実施し、耐震性が劣る施設の更新を可能な限り加速化する必要がある。					
主な取組	外部有識者で構成する「経営懇談会」を設置し、その意見や提案も踏まえ、首都圏等の各種イベントへの出展や施設見学会の開催、受水企業との意見交換や定期的訪問等の需要開拓の取組を行うとともに、計画的にダム放流設備の耐震補強や耐震性を有する配水管への更新工事を実施。					
予算額(千円)	R3	2,439,715	R2	2,905,007	R1	4,174,193
施策のイメージ	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>&lt;経済部・関係機関&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「連絡会議」を開催し情報共有</li> <li>・企業誘致の推進</li> </ul> </div> <div style="font-size: 2em;">⇔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>&lt;企業局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地取得者等に対する営業活動</li> <li>・産業イベント等への出展によるPR</li> <li>・施設の長寿命化・耐震化や計画的な改修等の推進</li> </ul> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>&lt;施策目標&gt;</p> <p>契約水量の増加、安定供給による立地環境整備</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">工業用水供給</p>					

**<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R11)	達成率	指標判定
契約率	目標値		-	78.8	73	76	103.3%	A
	実績値		78.4	80.3	75.4	-		
設定理由	経費負担の原則は、料金収入をもって充てなければならない、いわゆる独立採算が原則であり、契約率は料金収入に直結しており持続可能な経営状況を測る評価指標及び数値目標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
大口顧客の業務転換(石油精製→物流拠点など)に伴い、契約率の減を見込んでいたが、既存受水企業等の増量により想定よりも減少が抑えられたと認識。								

指標名②	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R11)	達成率	指標判定
管路耐震化率	目標値		-	-	63	69	100.0%	A
	実績値		59	60	63	-		
設定理由	北海道企業局経営戦略及び北海道強靱化計画に基づき、工業用水道の管路の耐震化を図るうえでその進捗状況を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
北海道企業局経営戦略の計画初年である令和2年度から目標値を設定し、進捗状況については計画どおりに進んでいると認識。								

指標名③	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備	施策コード	10021
---------------	-----	-----------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	契約率	78.4	80.3	75.4	73.0	A
	管路耐震化率	59	60	63	63	A
目標(指標)の達成状況	政府の2050年カーボンニュートラル宣言による社会経済情勢の変化により、LNG発電所(増設)及びバイオマス発電所(新設)など大口顧客の立地が推進され、契約率が上がった。耐震化についても計画どおりに事業を実施したことから、目標を達成することができた。				指標総合判定	A
連携状況	経済部及び関係機関で構成する「工業用水需要開拓促進連絡会議」を毎年開催し、企業誘致に関する情報共有を図りながら、新規企業獲得や既存企業の増量に向けた営業活動を実施し、更なる工業用水需要の拡大を推進した。				連携判定	○
緊急性優先性	(一財)日本工業用水協会を通じて、経済産業省等へ国庫補助制度の拡充等に関する要望を行った。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	公営企業として工業用水を低廉かつ安定的に供給するとともに、北海道企業局経営戦略に基づき、工業用水需要の拡大や施設の耐震化等を着実に推進している。				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	外部有識者で構成された「経営懇談会」の意見や提案も踏まえ、各種イベントへの出展や受水企業との意見交換及び定期的な訪問等を実施し、需要拡大に向けて取り組みを推進するとともに、SNSやダムカードを活用した情報発信にも努める。
	②	耐震診断の結果を踏まえ、重要性や劣化度合いなどから優先度を設定し、費用の平準化を図りながら計画的にダム放流施設の耐震補強や耐震性を有する配水管への更新等を実施する。
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況(R3.3時点)	
R3年度二次政策評価		

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	外部有識者で構成する「経営懇談会」の意見や提案も踏まえ、地域における脱炭素化推進の取組との連携を図るなど、個々の企業のニーズに対応したきめ細やかな営業活動を進めるとともに、選定から10周年を迎える工業用水道キャラクターやダムカードを活用した広報・PRにも努める。